授業科目	臨床薬理学	単位数	1 単位	講師名	薬剤師
		時間数	30 時間		
学年	2 学年		履修期	前期～後期	
授業の目標	1. 薬物が生体におよぼす作用の多様性について理解する 2. 薬物療法における患者の安全性確保について理解する				
授業内容 (授業計画)	1. 抗感染症薬 2. 抗がん薬 3. 免疫抑制薬 4. 抗アレルギー薬・抗炎症薬（副腎皮質ステロイド薬） 5. 末梢での神経活動に作用する薬物 6. 中枢神経系に作用する薬物 7. 心臓・血管系に作用する薬物 （強心薬、抗不整脈薬、狭心症治療薬、抗血栓薬、降圧薬、昇圧薬、利尿薬） 8. 呼吸器・消化器・生殖器系に作用する薬物（消化性潰瘍治療薬、下剤） 9. 物質代謝に作用する薬物（糖尿病治療薬） 10. 消炎鎮痛薬、麻薬 11. 皮膚科用薬・眼科用薬 12. 救急の際に使用される薬物 13. 漢方薬 14. 消毒薬 ★教科書 第2部薬理学各論 P.59～				
評価方法	筆記試験				
注意事項	特記なし				
教科書	系統看護学講座 専門基礎分野 薬理学（医学書院）				
参考図書	特記なし				